

# 夢はすぐそこ!

## 国東在住のパイロット訓練生



### 本田航空 大分事業所

本田航空株式会社(本社…埼玉県)が昨年5月、パイロット養成を目的に大分空港内に開設した訓練所。大分事業所長の高村正治さんによると、従業員はパイロット(訓練教官)7名、整備士3名など合計13名。現在、民間航空会社をはじめとする企業体の乗員養成訓練受託を中心に25名の訓練生が在籍し、訓練生の全員が国東市内に居住しているそうです。

訓練内容は、小型機を使用したフライト訓練、シミユレーター訓練、学科教育など。フライト訓練は大分空港を拠点に、松山や高知など近隣空港や空域で実施。実技試験の合格までに要す約半年間を大分事業所で過ごします。

今回お話を伺った3名は、本田航空独自の乗員養成課程に志願して、自費で努力を続ける訓練生です。4月下旬から大分事業所で計器飛行訓練を開始。秋頃卒業を迎えた後、航空業界への就職活動を経て、プロのパイロットへと羽ばたきます。

**秋山 朋恵さん(31)**  
東京都出身・武蔵町在住

学生時代、新聞広告でパイロット養成の記事を見て決断し、アメリカで小型機の操縦免許を取得しました。航空会社で大型機を操縦することを夢見て訓練を続けています。

訓練飛行中は外の景色を見る余裕はないですね。でも、国東半島が丸いのは空からはつきりとわかります。青い海岸線と緑色の陸地はとても美しいです。

国東市に住み始めて約2か月がたちました。ここは空気がおいしい場所だと思います。コンビニが意外とたくさんあるんですね。ただ、街路灯が少ないのはちょっと不安です。



**木矢村 豊さん(28)**  
愛知県出身・安岐町在住

子どもの頃に飛行機を見て、なぜ飛ぶのかを不思議に思い大学で航空学を学びました。一般企業に就職しましたが、パイロットの道を再び目指そうと本田航空の門を叩きました。訓練機の操縦席は、客席に座るときと比べて緊張感が全然違いますね。

スパーにいると地域の方が気軽に声をかけてくれます。外からの方をあたたくかき迎え入れる雰囲気があるので、国東は安心して住むことができます。海がきれいなので国東に来て釣りを始めました。両子山にも登ってみたいと思います。訓練所で使う文房具が豊富なお店があるといいですね。

**林 洋介さん(27)**  
神奈川県出身・安岐町在住

高校生の時、初めて飛行機に乗り感動しました。大学を出て一般企業で働いていましたが、その頃抱いていたパイロットへの夢を捨てきれず、昨年から訓練を始めました。大分空港では民間機の運航に気を配りながら、「いつかは操縦するぞ」という強い希望を持って、今はがんばっています。

ずっと都会に住んでいたため、国東は心があったかくなる場所だと感じました。今のまま変わらないでほしいと思いますね。おいしいラーメン屋や外からの人でも気軽に立ち寄れる飲み屋があるといいですね。見たこともない虫が多いので困っています(笑)。



▲本田航空大分事業所と訓練機

# 国東で 独立目指す

## こねぎトレイニングファーム研修生



▲国東市農業公社専任指導員の前田久さん(左)と研修生のみなさん

北海道の実家は漁業ですが、農林水産業は肉体的に厳しいイメージがありましたので、農業の道に進むとは思っていませんでした。しかし、こねぎ栽培を始めたいから、やることに決めて新鮮で農業の楽しさを実感しています。早く独立することを目標にがんばりたいです。

国見町内に1月から住んでいます。最初に驚いたことは、子どもからお年寄りまで気軽にあいさつをしてくれたり、地域の地域性があり、北海道から来た不安が一気に消えました。今のところ国東に不安はありませんね。



**日下部 和幸さん(29)**  
北海道出身・国見町在住

**谷口 義樹さん(23)**  
静岡県出身・国見町在住



大学在学中、国東で農業体験をしました。いつかは会社を経営することが夢なので、まずは農業の現場で研修を受け、生産や経営のノウハウを学びたいと思っています。農業はゼロからのスタートで暑さとの戦いもありますが、この苦しさはわからないと起業もできないと思っています。

国東は、釣りや山菜採りなど楽しみがたくさんあります。フットサルチームの仲間入りをして、地元の同年代の人たちと交流ができています。国東を盛り上げていきたいと思っています。

**渡邊 龍一さん(30)**  
大分市出身・国見町在住



新しいことにチャレンジしたいと思い、父親と小学3年生の息子と国見に来ました。指導員の前田さんは、私たちが納得するまで教えてくれました。自分が作ったこねぎをお客様に食べていただけたのはとてもうれしいです。

国東は大変過ごしやすい場所です。4月に転校した息子もすぐにとけ込んで、のびのびと学校生活を送っています。ネギ好きの息子のためにも「いいモノを作る」を目標に研修を続けます。

会社を退職し、第二の人生を送りたいと考えていたところに、国東で農業研修の話がいただきました。農業は初めてですが、いろいろなことを教えていただいています。日々新しい発見がありとても楽しいです。

国東は海と平地、そして山があり、360度見渡せる素晴らしい場所です。この田舎らしさを残すべきだと思いますね。研修を終えた後は国東町来浦に定住し、本格的に農業に取り組みたいと思います。準備を進めています。

**渡邊 稔さん(52)**  
大分市出身・国見町在住

### 国東こねぎトレイニングファーム

新規就農者の育成施設として、県・国東市・農協などが整備し、今年3月25日に国東市農業公社国見事業所に開講。市外から転入した研修生4名が、県東部振興局や農協職員の指導で生産や経営、販売について受講するほか、公社と研修生実地実習のハウス(共に国見町中)で、こねぎの栽培技術を学んでいます。市内で独立することを指し、来年3月末まで研修を続けます。

土壌作りから指導する公社の専任指導員の前田久さんは「初めて農業に取り組み研修生ですので、まだまだ今からですね。できるだけ早く自分で生産できるように指導していきたいです」と語ります。「4人のやる気は十分に感じられる」と絶賛する前田さんと研修生の笑い声が、今日もビニールハウスから聞こえてきます。



▲開講式で研修生を激励する、国東市農業公社理事長の三河明史市長(3月25日・公社国見事業所)